

～ステイホーム・外出自粛～

平野 武宏

新型コロナウイルス感染防止では新しい言葉を学びました。密集・密閉・密接の「三密」、小池東京都知事が5月のゴールデンウィークを「ステイホーム週間」と名付け「不要不急の外出自粛」を要請しました。「外出自粛」とは「外出禁止」ではありません。健康維持のためには適度の運動が必要です。

私は早起きなので早朝に人に会わない道を家から約30分歩き、Uターンして帰宅しています。

歩いた距離を累積するバーチャルウォークで達成感も楽しんでます。マイお散歩コースが沢山出来そうですよ。2012年（平成24年）8月に生まれ育った藤沢市から東京都豊島区を終の棲家とした私は当初は地元を知ろうと歩き回りましたが、すぐに都内にある名所旧跡に目と足を向け、地元を疎かにしてしまいました。

朝のお散歩で家から約10分の南大塚に「歌曲からたちの花 発祥の地」の石碑を見つけました。北原白秋作詞、山田耕筰の作曲です。



山田耕筰は1896年（明治29年）10歳で医師でキリスト教の伝道活動をしていた父を亡くし、父の遺言でこの地にあった「自営館」（苦学生に仕事を与え、学校へ通わせるための施設）に入館しています。13歳まで館内の活版工場で働き、その後は岡山の姉を頼り退館し、西洋音楽の道を歩みます。

「自営館」は1919年（大正8年）経営難で廃止、跡地には「巣鴨教会」が建っています。

石碑には右側に楽譜、左側に山田耕筰の言葉が書かれています。

枳殻（からたち）の白い花、青い棘（とげ）、そしてあの まろい金の実、それは自営館生活に於ける私のノスタルジアだ。そのノスタルジアが白秋によって詩化され、あの歌になったのだ。

山田耕筰

石碑の後には「からたち」が植えられ、種は福岡県の「北原白秋記念館」からわけていただいたとのこと。

山田耕筰はNHK連続テレビ小説「エール」に登場しています。新型コロナウイルスに伴う肺炎で3月29日死去したお笑いタレントの志村けんが演じ、1日の放送に登場して話題になりました。主人公の古山裕一（古関裕而がモデル）の才能を認め、レコード会社に専属作曲家として推薦する日本を代表する大物作曲家小山田耕三役です。

ステイホームで暇な身、ネットで調べたら藤沢市の県立湘南高校の校歌は北原白秋作詞、山田耕筰の作曲、藤沢市立藤沢小学校の校歌は西條八十作詞、古関裕而の作曲と知りました。藤沢小学校OBの私は校歌が思い出せず、「呆けてしまったか」と嘆いていましたが、1964年（昭和39年）制定と知り、ほっとしました。私の卒業は1955年（昭和30年）3月でした。

新型コロナウイルス感染防止の「ステイホーム・外出自粛」で発見した数々です。

「東京発祥之地めぐり」はHP ひろば「寅さん歩」をご覧ください。